

度録  
生涯研修抄  
11

# 子どもたちをう蝕・不正咬合から守る

須貝昭弘 (神奈川県川崎市開業)

子どもたちをむし歯のないきれいな歯並びにして欲しいという希望で、歯科医院に通わせる家庭が多くなってきている。このように疾患も障害もない子どもが定期的に通う医療機関は、歯科医院以外にはない。

歯医者といえば「痛い、怖い」のイメージがあるが、最近では子どもたちが通いやすい雰囲気作りもされるようになり、定期健診に通う子どもたちにとって歯科医院のイメージは大きく変わってきている。しかし、そのように定期的に通って

いる子どもたちの口腔内には、う蝕ができて歯列が乱れてしまっている。歯列に乱れは医療としての意味はまったくない。商業主義で患者に迎合するのではなく、医療人としてのプライドを持って結果を残すことが地域での評価につながるのである。

接面のContact Cariesなどは通常の診査だけでは見逃してしまふ。歯列に乱れは医療としての意味はまったくない。商業主義で患者に迎合するのではなく、医療人としてのプライドを持って結果を残すことが地域での評価につながるのである。

子どもの歯に対する関心が高まりう蝕が減ってきている。子どもたちを健全な永久歯列に導くことは容易なことではない。う蝕の病態は大きく変化し、う蝕を形成していない裂溝直下のHidden Cariesや隣

どうしてもマンパワーが必要であり、医院全体で子どもたちを診る目をレベルアップしていかねばならない。院内でのう蝕予防は歯科衛生士の仕事であり子どもたちの上手なかかわりは女性ならではのものです。歯列に乱れは医療としての意味はまったくない。商業主義で患者に迎合するのではなく、医療人としてのプライドを持って結果を残すことが地域での評価につながるのである。

「保険で良い歯科医療」の署名はがき入りティッシュを渡す。右端は江原豊理事

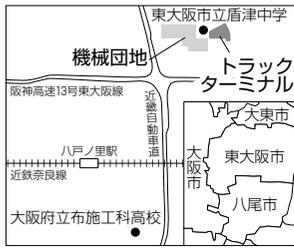


## 「費用の軽減で良い入れ歯を」

「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」は大坂で署名5万筆を目標に取り組んでいる。署名推進の起爆剤としてポケットティッシュが「役買」ことが期待されている。協会希望する会員に50個を無料で送る。江原歯科(堺市)では、受付で署名を呼びかけながらティッシュを手渡して、家族などへの協力も頼んでいる。受付の樋口さんは「ティッシュは受け取ってもらいやすいし、患者さん以外にも保険で良い歯科のことを知ってもらえれば」と話す。

# 大阪の戦跡

機関紙協会大阪 坂手崇保



盾津中学校の正門そばに建てられた「盾津飛行場跡地」の碑

## パイロット養成を目的

盾津飛行場跡地には「盾津飛行場跡地」の碑が建つ。水田の真ん中に、大坂陸軍飛行場(盾津飛行場)ができたのは34年(同9年)。

民間の寄付で造られたもので、大阪の防空と民間パイロットの養成を目的としていた。戦争末期には、ここで訓練を受けた学生が敵艦めがけ沖繩の海で死んでいった。終戦

して飛行場を造り、完成と同時に陸軍省に献納したのだ。地主に対して、夜に印鑑持参で集まるように通知があり、会場で羽織袴姿の笹川が趣旨を説明

し、了承と捺印を求めた。不承知のものが退席すると、帰りの暗がりには憲兵が現れ「なぜ承知しないのか」と拘留をほめた。結局一人も反対できなかったという。

盾津飛行場の格納庫で組み立てられていた飛行機は九九式練習用爆撃機

の府立布施工科高校)が設立される。航空機体科があり、航空機の設計・製造・整備の技術者を養成するという国策に沿った学校だった。格納庫を持ち、飛行機やグライダーを備えた。教育内容も高度で、旧制中学校の教師では間に合わず、大学からも講師が来ていた。厳しい軍国主義教育で、冬も上半身裸の朝礼で、乾布摩擦や「航空本操」が「ブンブン荒鷲ブンと飛ぶぞ」の歌に合わせてやられていた。しかし、45年(同20年)6月15日の空襲で校舎、実習工場、格納庫などをほぼ焼失した。40年(同15年)には、盾津飛行場の西隣に大阪練兵場が造られた。大阪城の東にある陸軍造兵廠大阪工場を拡張するため、城東練兵場の用地をあてることになり、その代替地として大阪が選ばれた。広さ109万平方メートルで、盾津飛行場の約3倍で、こちらは陸軍省が地元には有無を言わず直接用地を買収した。現在のトラックターミナルや機械団地の広大な土地はもと陸軍用地だったわけだ。

宮崎駿監督の映画「風立ちぬ」の主人公、堀越二郎が設計した九六式艦上戦闘機が完成したのが1935年(昭和10年)。日中戦争のさなかに航空熱が高まっていたことと符合する戦争遺跡が大阪市にある。

盾津中学校の正門のそばに建てられた「盾津飛行場跡地」の碑が建つ。水田の真ん中に、大坂陸軍飛行場(盾津飛行場)ができたのは34年(同9年)。

民間の寄付で造られたもので、大阪の防空と民間パイロットの養成を目的としていた。戦争末期には、ここで訓練を受けた学生が敵艦めがけ沖繩の海で死んでいった。終戦

して飛行場を造り、完成と同時に陸軍省に献納したのだ。地主に対して、夜に印鑑持参で集まるように通知があり、会場で羽織袴姿の笹川が趣旨を説明

し、了承と捺印を求めた。不承知のものが退席すると、帰りの暗がりには憲兵が現れ「なぜ承知しないのか」と拘留をほめた。結局一人も反対できなかったという。

盾津飛行場の格納庫で組み立てられていた飛行機は九九式練習用爆撃機

の府立布施工科高校)が設立される。航空機体科があり、航空機の設計・製造・整備の技術者を養成するという国策に沿った学校だった。格納庫を持ち、飛行機やグライダーを備えた。教育内容も高度で、旧制中学校の教師では間に合わず、大学からも講師が来ていた。厳しい軍国主義教育で、冬も上半身裸の朝礼で、乾布摩擦や「航空本操」が「ブンブン荒鷲ブンと飛ぶぞ」の歌に合わせてやられていた。しかし、45年(同20年)6月15日の空襲で校舎、実習工場、格納庫などをほぼ焼失した。40年(同15年)には、盾津飛行場の西隣に大阪練兵場が造られた。大阪城の東にある陸軍造兵廠大阪工場を拡張するため、城東練兵場の用地をあてることになり、その代替地として大阪が選ばれた。広さ109万平方メートルで、盾津飛行場の約3倍で、こちらは陸軍省が地元には有無を言わず直接用地を買収した。現在のトラックターミナルや機械団地の広大な土地はもと陸軍用地だったわけだ。

協会行事案内

個人診療所対象「弥生会計」パソコン記帳講座
10月12日(土)・19日(土) 午後3時~6時
※全2回通しての講習会です。
京橋「大発ビル」弥生カレッジCMC2階
柄溝宗生税理士(協会・税理士団)
一人につき1万円(2回分)
対象 会員、家族、会員院所スタッフ
定員 20人(定員になり次第締め切ります)

大阪市南部地区
古地図で歩く大阪「阿倍野区から西成区まで」
熊野街道と紀州街道を歩く
日時 10月14日(祝・月) 午後1時30分~3時30分
集合 地下鉄谷町線「阿倍野」駅 南改札
解散 午後4時30分頃 南海「岸里玉出」駅
案内 西俣稔氏(大阪案内人)
主なコース 上町台地の岸壁↓吉田兼好打石↓大坂最古の撞球場↓熊野街道↓岸の姫松跡↓天下茶屋遊園地跡↓阿倍野神社↓紀州街道↓天下茶屋跡
※散策後、天下茶屋で懇親会を予定(3千円程度)
会費 無料、懇親会は実費

歯周治療3回シリーズ講座
日時 ①10月26日②11月30日③2014年1月25日
の各土曜日 午後6時から8時30分
会場 保険医会館 定員 50人
講師 高津兆雄氏(旭区開業、大阪歯科大学歯周病学講座前准教授)
学費 無料 未入会者各1万円
①臨床所見から基本治療まで②基本治療後の歯周外科治療など③指導管理とメインテナンスなど
主催 大阪市北部地区、大阪市東部地区、南河内地区
未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承下さい。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。